

満足度
100%

『働きがいの再定義 ～人が辞めない職場を共創する～』（テーマ:定着）

「働きがい」とは何か 働きやすさとやりがいについて、実体験を通じて、参加者自身はどうだったのかを振り返り、環境を整える側として、改めて若手と共にその環境を創り上げていくにはどうすべきか、を皆で議論しました。

- ◆日時:令和7年10月8日(水)
13:30~16:30
- ◆場所:東京都中小企業振興公社
- ◆参加企業:21社25名
- ◆講師・ファシリテーター



人的資本経営
事業管理
コーディネータ
河野 博志 氏

近年、ホワイト企業であることをアピールする企業が多い中で、人材確保が難しい今こそ、自社の「働きがい」を再定義することが結果として定着を促すと思います。

ワークショップでは、自社の“仕事上のやりがいや仕組み”を考えることに苦労していた方が多かったようです。一方で、他社の仕組みや工夫に関する情報を聞くことで、刺激を得た方も多くいました。“やりがい”とは、たまたま生じるものではなく、会社として、意図的な仕掛けや仕組みを用意しておくことが重要であることに気づきを得ていただいたと思います。

講義: 「働きがい」とは何か? まずは講義でその本質は何かを整理し、グループワークへの事前準備を行いました。

ワーク1: 「働きやすさ」とは? これまでの「働きにくかった体験」や「働きやすい環境」を思い出して共有しました。

ワーク2: 「働きがい」とは? 「それを感じた瞬間」「どうしてそう感じたのか」を共有し、働きがいを「共創」するために何が必要かを考えました。

意見交換: **メンバーをチェンジして意見交換の輪を広げました。**



【ワークショップ参加者の声】

- ・問題意識を持ってみなさん参加されているので、自然と議論が始まりました。
- ・同じような課題を抱えつつも、アプローチの違いもあり、とても参考になりました。
- ・ワークショップでの他社との会話する時間が多かったのもとても良かった。
- ・毎回交流の中で、沢山の気づきがあるので、参加してよかった。
- ・他社のリアルな課題や取り組みを学べる貴重な機会となりました。
- ・衛生要因の改善、その上で動機付け要因が生きてくること、改めて2つの重要性を感じました。今後も採用・育成のワークショップに参加し、今回の定着と良い連動をすることで、良い人財が長く働きたいと思ってもらえる会社を目指します。
- ・他社での実践を知り、ネットワークを作る良い機会でした。

【ヒトコトサロン】

ワークショップ修了後の有志による交流会では、人材定着に関する各社の実情と施策を共有しました。他社の事例を具体的に知ることによって、自社にも活かせる新たな気づきを得る有意義な機会となりました。